



ENJOY LIFE

NO.87

みなさんこんにちは('◇')ゞ去年はコロナウイルスの影響で、七夕祭りが中止になりましたね。今年はどうなるでしょう…(-_-)こんな時だからこそ「おうちで七夕」を、テーマに、お家で楽しむのはいかがでしょう。家族と、友達と、そして恋人との大切な時間をステキに過ごす方法をご紹介します♡♡



『伝統的七夕』って知っていますか？

2021年は、直前の新月が8月8日（太陰太陽暦だとこの日が7月1日）なので7日目の 8月14日が伝統的七夕の日になります！

『伝統的』ということは、昔から引き継がれてきたものでしょうか。七夕の行事を8月7日に行う地域もあるといいのは聞いたことがあるのですが、それともまた違うようなのです。この伝統的七夕は、国立展望台が定義して呼びかけているとのことなんです。どんな意味があるのか調べてみたところ、とっても素敵な日だとわかりましたのでご紹介します！

七夕と伝統的七夕の違いは？

一番違うのは、お天気ですよね。現在の七夕である7月7日は、梅雨の時期と重なることがほとんどです。つまり、七夕の日に、織姫星や彦星を見たいと思って星空を眺めても、雨が降ったり、雲で覆われたりで、星を眺めることができないことが多いということです。でも、8月になれば晴れる日が増えて、星空を楽しむにはもってこいの季節になります！

次に、星の位置です。7月7日よりも8月の方が、七夕の星が見える位置が高くなります。つまり、星が見やすいということです☆彌

最後は月の形。

7月7日の月の形は、年によって違います。でも、伝統的七夕の日に輝く月は、上弦前の月になるんです。実は、日本には、織姫と彦星が天の川を月の舟で渡るというお話があるんですが、そのお話に出てくる月が、上弦前の月とイメージがぴったり！月齢がほぼ6日の月なので、だいたい、このくらいの月になります。まさに月の舟という感じがします。



つまり、伝統的七夕の日は、晴れる確率が高く、宵の空に七夕の星々が高く昇り、上弦前の月が南西の空に輝く日なのです。星空を眺めながら、織姫と彦星が月の舟に乗って天の川を渡る、そんなイメージが膨らむ一日になったら素敵だなと思います(*^-^*)